

公益社団法人 私立大学情報教育協会
平成28年度 第5回事業普及委員会
議事概要

- I. 日時 平成29年2月10日(金) 14:00~16:00
場所 公益社団法人 私立大学情報教育協会 事務局
- II. 出席者 向殿担当理事、今泉委員長、木村委員、宮脇委員、戸高顧問
(事務局 井端事務局長、高川職員)

III. 検討内容

今回は、収集状況と未着の原稿の取り扱いについて報告し、収集原稿の内容について確認した。

1. 2016年度 機関誌 No.4 (3月号) の原稿収集状況と未収原稿の取り扱いについて

- ① 収集済の原稿について、「巻頭言」、特集の「経営執行分の情報セキュリティに対する取り組みについて」、大学の組織的取り組みの工夫としての「e-ラーニングの取り組み」、「高等教育におけるe-learningの普及方策」、海外ニュースの「Evidence of Learning: A Framework for Facilitation」と「How Personalized Learning Unlocks Student Success Revised」の取り扱いについて検討した。
- ② 海外ニュースについては、翻訳原稿の内容を精査した結果、「How Personalized Learning Unlocks Student Success Revised」をNo.4に掲載するため、原稿内容を再度精査することになり、今泉委員長と宮脇委員に編集作業を依頼することにした。なお、「Evidence of Learning: A Framework for Facilitation」の取り扱いについては、改めて検討することにした。
- ③ 未収原稿の取り扱いについては、「IOT時代の情報セキュリティの課題」、「英語学習のeラーニング支援」、「賛助だより」(3件)が届き次第、戸高先生の校閲、各委員への事前配布を経て次回委員会で確認することにした。また、事業活動報告の「平成28年度教育改革FD/ICT理事長・学長等会議報告」は、執筆中のため、後日戸高先生の校閲をうけることにした。
- ④ 「賛助会員だより」については、(株)アクシオ、東通産業(株)、(株)朝日ネットに依頼中で、2月末日に予定している。

2. 収集原稿の内容確認について

- ① 「巻頭言」については、特に意見がなく原稿内容を確認した。
- ② 「サイバー攻撃の動向とセキュリティの対応体制」については、「教職員」と「全職員」を「全教職員」として統一することについて、執筆者に確認することにした。
- ③ 特集原稿の割付は、冒頭に枠囲いで特集記事の内容を概要紹介し、その上で「IOT時代の情報セキュリティの課題」、「サイバー攻撃の動向とセキュリティの対応体制」、「経営執行分の情報セキュリティに対する取り組み」、「情報セキュリティベンチマーク評価の必要性と活用対策」、「情報セキュリティベンチマーク評価の集計結果」の順で掲載することにした。
- ④ 「e-ラーニングの取り組み」については、「事業2年目から3年目にかけて」の表現が誤解を招く恐れがあるので、執筆者に確認することにした。
- ⑤ 「高等教育におけるe-learningの普及方策」については、「(図3参照)」の表現を「(図3参照・関連URL参照)」に修正した。
- ⑥ 「海外ニュース」については、以下の点を修正した。
 - * 「有色人種」の表現が適切でないので削除した。
 - * 「アダプティコースウェア」の箇所を図との関連性を持たせるために(図1参照)、(図2参照)を文中に記載することにした。
 - * 「The Time is Now」の訳は、「機は熟した」に修正した。
 - * 「student success」の訳は、「学業達成」とした。訳の「学修」は「学習」、「落ちこぼれ」は「学業不振」とした。

3. その他(次回の日程について)

次回の日程は、平成29年3月2日(木) 18時とし、平成29年度No.1の掲載企画を中心に健闘することにした。